

世界が 懸念していること

2023年8月



GAME CHANGERS



世界が懸念していること

イプソスの「世界が懸念していること」調査は、世界29カ国でいま最も重要な社会的・政治的問題に関する世論を追跡し、10年以上にわたるデータをもとに最新のスコアの背景を考察するものです。

この**グローバルサマリーレポート**では、世界中で最も懸念されていることを、自国の物事が正しい方向と間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意識と共に紹介しています。

各国および各問題の調査結果の内訳は、www.ipsos.com でもご覧いただけます。

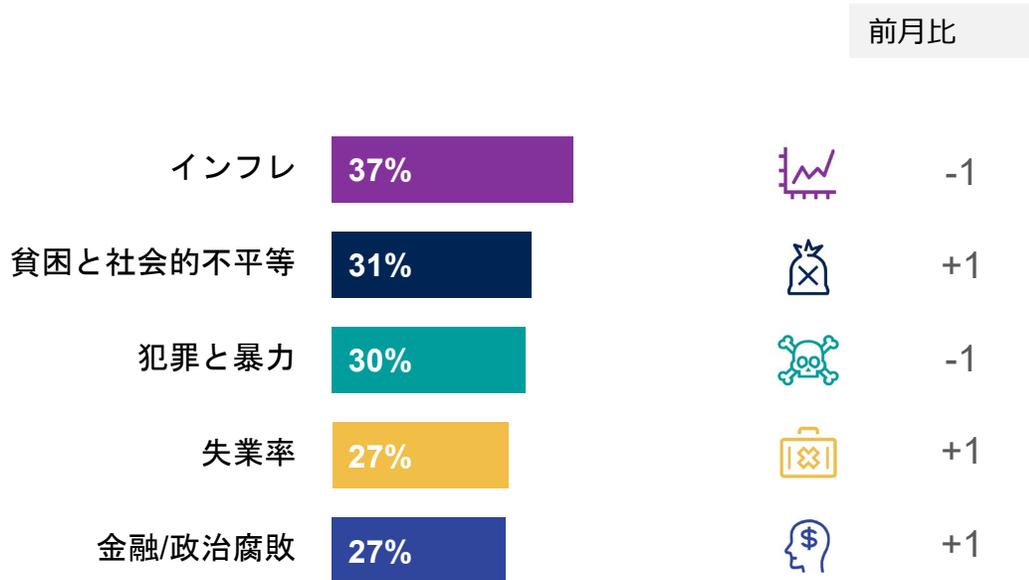
詳細は Teodros.Gebrekal@Ipsos.com までお問い合わせください。。



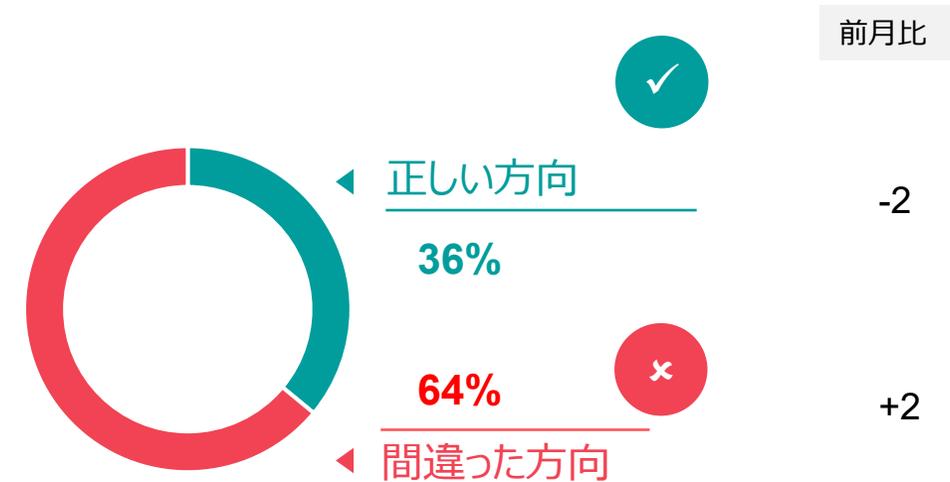
世界が懸念していること2023年8月23

インフレは17ヶ月連続で最大の懸念事項となっていますが、今年最低の水準（2022年6月以来の低水準）へと再びわずかに下がりました（1ポイント減）。貧困と社会的不平等への懸念は、失業と金融・政治腐敗とともに1ポイント上昇しました。逆に、犯罪と暴力は、7月に上昇した後、1ポイント減少しています。

Q 次のトピックのうち、あなたの国で最も心配だと思うものを3つ選んでください



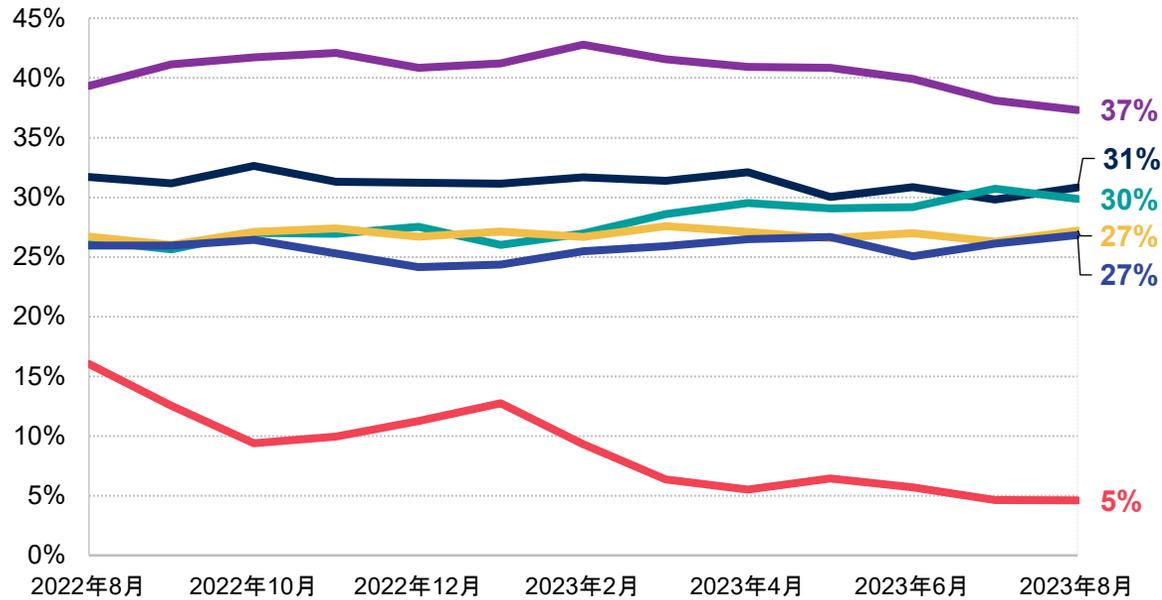
Q 一般的に言って、この国の物事は正しい方向に向かっていると言えるでしょうか、それとも間違った方向に進んでいると言えるでしょうか



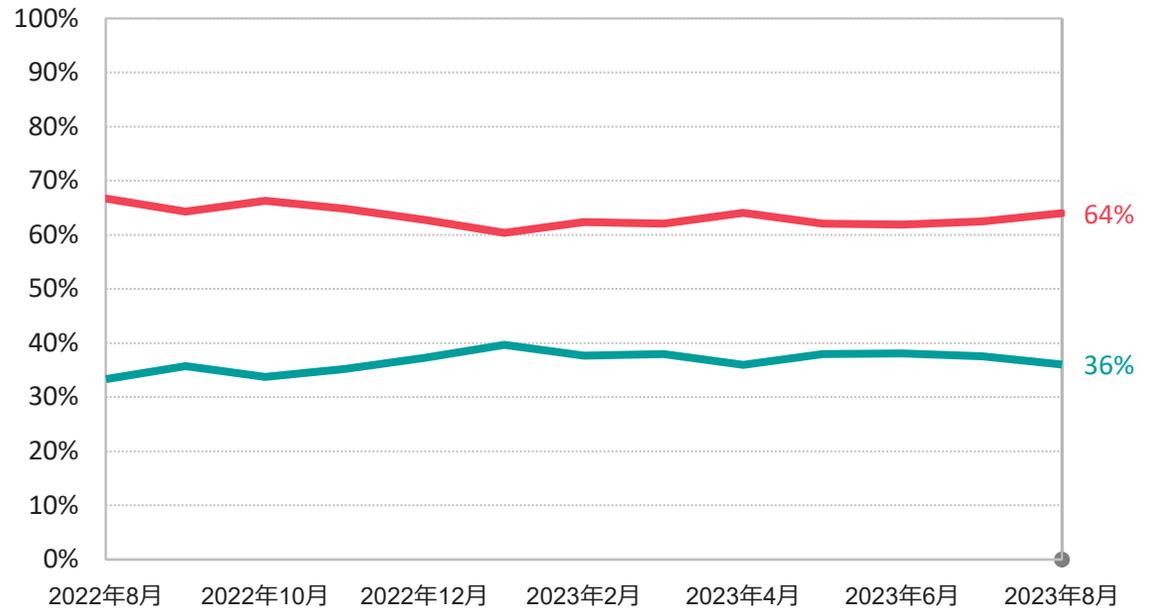
ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,275人。2023年7月21日～2023年8月4日調査。
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

世界が懸念していること 12か月のトレンド

Q 以下のトピックのうち、あなたの国で最も心配だと思うものを3つ選んでください



Q 一般的に言って、この国の物事は正しい方向に向かっていと言えるでしょうか、それとも間違った方向に進んでいると言えるでしょうか



■ 正しい方向 ■ 間違った方向

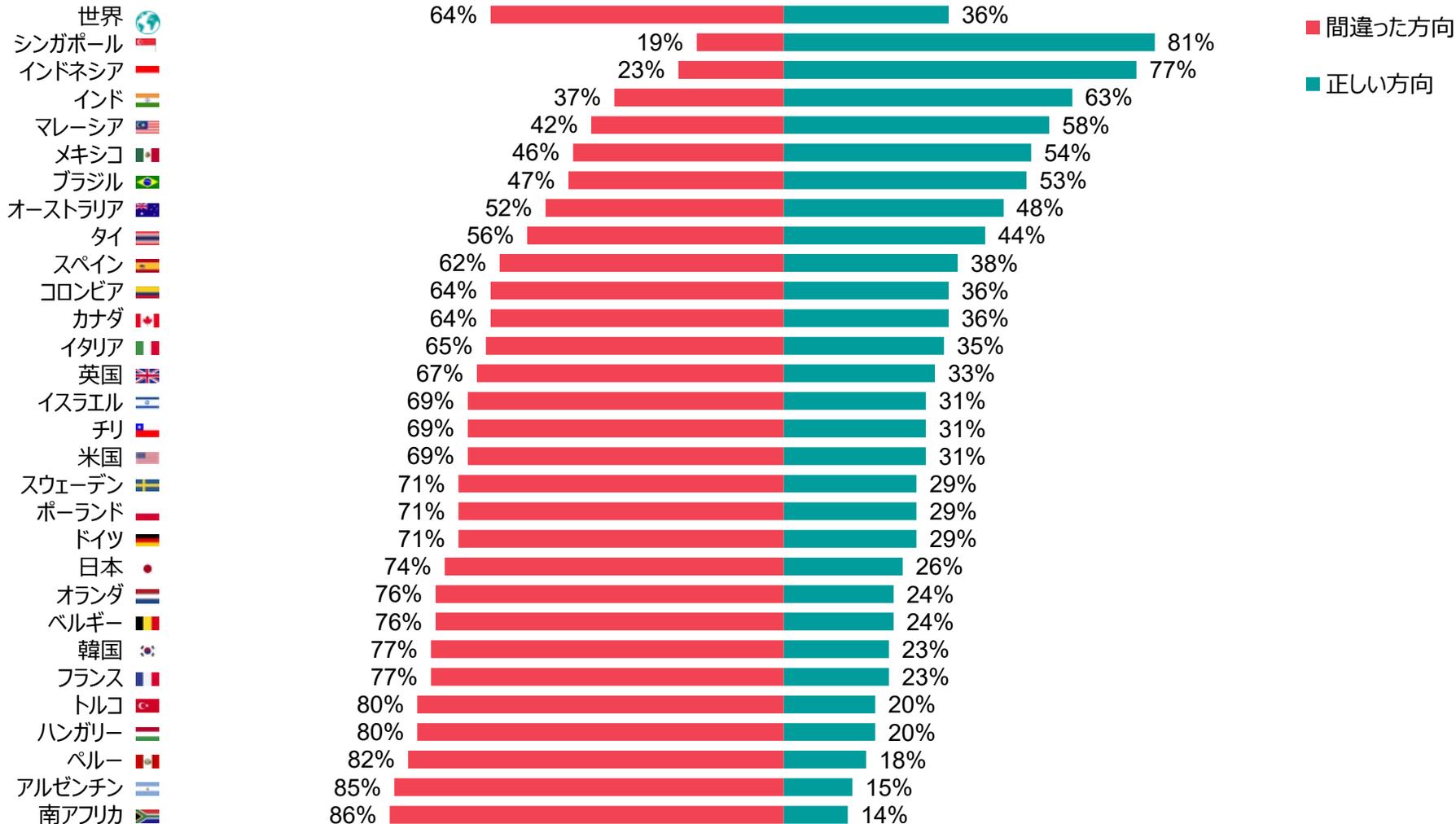
ベース：2022年8月～2023年8月、参加29カ国の16～74歳の成人約25,275人の代表サンプル。
 出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

進んでいる方向 全29カ国



正しい方向 VS.間違った方向 追跡モニターまたは

Q この国の状況は正しい方向に向かっていると言えるでしょうか、それとも間違った方向に進んでいると言えるでしょうか (2023年8月)



世界の3人に1人以上(36%)が、自国は正しい方向に進んでいると考えています。自国が間違った方向に向かっていると考えているのは64%で、7月から2ポイント上昇しました。

最も楽観的なのはタイ(44%)を除くアジア太平洋諸国です。タイは先月から16ポイント下降し、5位から8位へと順位を下げました。シンガポール(81%)が依然としてトップです。

トルコ(20%)も楽観的な見方が急落しています。今月は「正しい方向性スコア」が15ポイント低下しました。

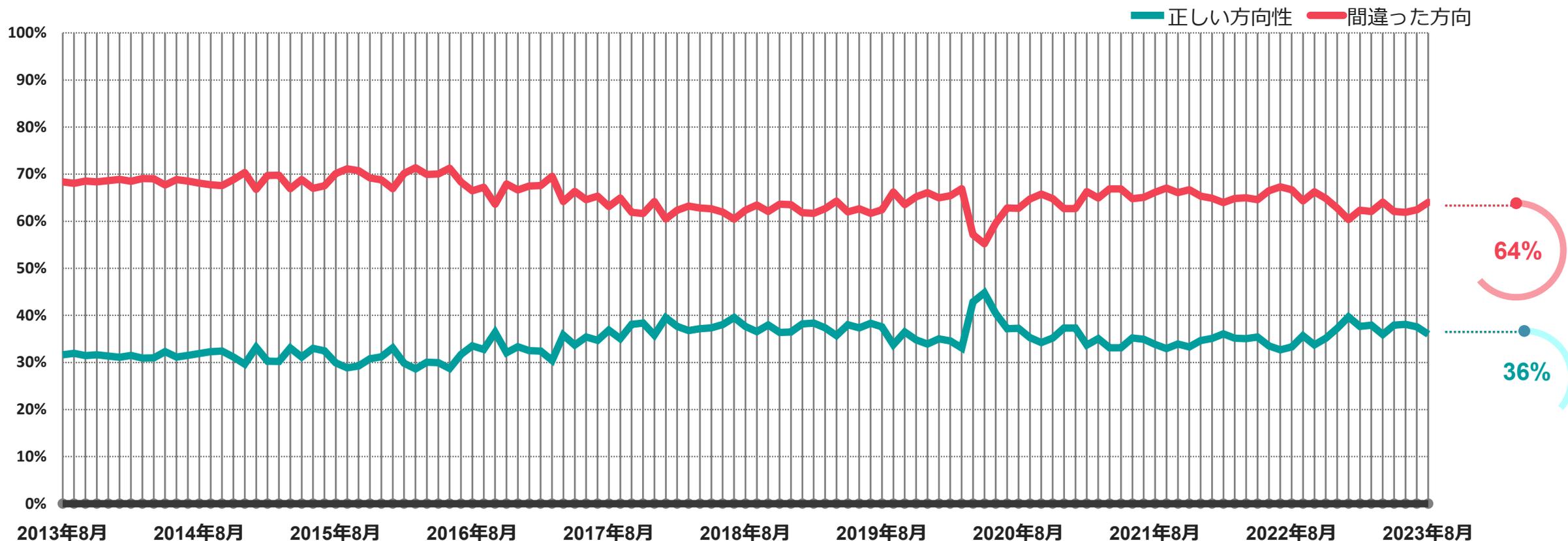
逆に、イギリスは2022年10月以降で最もポジティブな水準に達し、7ポイント上昇しました。3分の1(33%)が正しい方向に向かっていると回答しています。

ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,275人。2023年7月21日～2023年8月4日調査。
 出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。



グローバル：正しい方向／間違った方向

Q この国の状況は正しい方向に向かっていると言えるでしょうか、それとも間違った方向に進んでいると言えるでしょうか（世界各国平均スコア）



ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,275人。2023年7月21日～2023年8月4日調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

7 © Ipsos | 世界が懸念していること

フィルター：国：世界 | 現在のウェブ 2023年8月



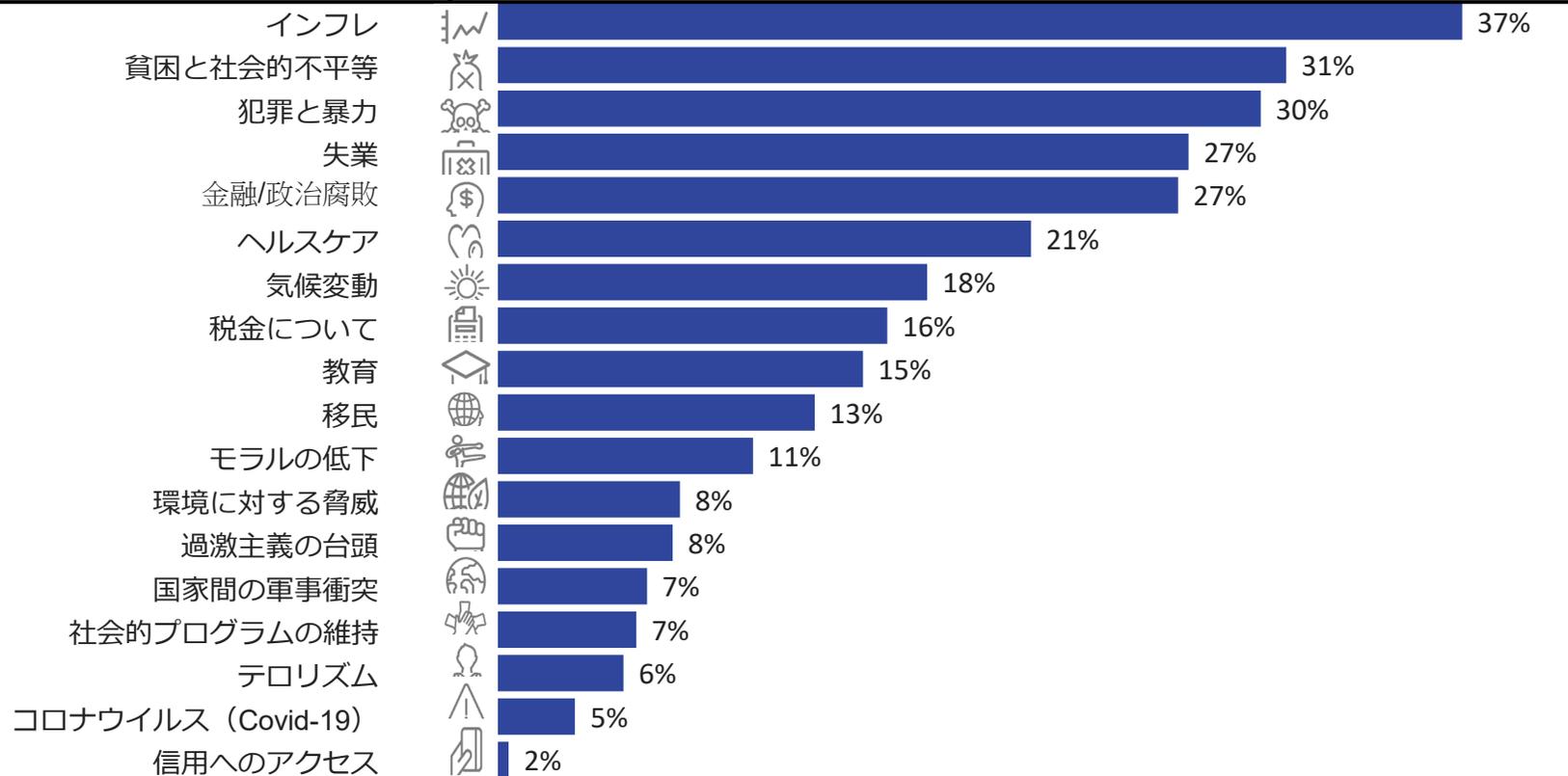
世界が懸念していること ランキング上位の懸念



世界の懸念事項：全18項目

Q 以下のトピックのうち、あなたの国で最も心配だと思うものを3つ選んでください

2023年8月の回答（世界各国平均）



インフレは6月に1ポイント低下し、7月に2ポイント低下、そして今月は1ポイント低下と、3か月にわたって低下しています。37%は今年最低の水準であり、2022年6月以来の低水準です。

逆に、貧困と社会的不平等（31%）、失業（27%）、金融・政治腐敗（27%）は1ポイント上昇しました。

前回上昇した犯罪と暴力（30%）は、1ポイントの微減となりました。

気候変動（18%）は、最近世界の多くの国で異常気象が見られているにもかかわらず、全体で1ポイントしか増加していません。

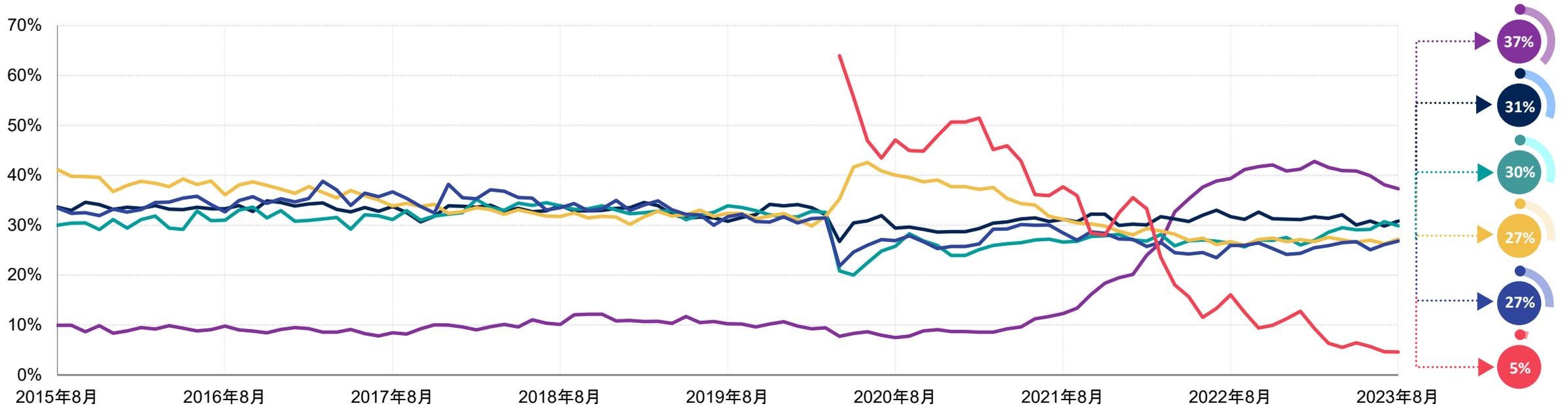
コロナウイルスは依然として第17位で、7月から変化はありません。

ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,275人。2015年～2023年。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

世界の懸念事項：長期トレンド

Q 以下のトピックのうち、あなたの国で最も心配だと思えるものを3つ選んでください




インフレ


貧困と社会的不平等


犯罪と暴力


失業

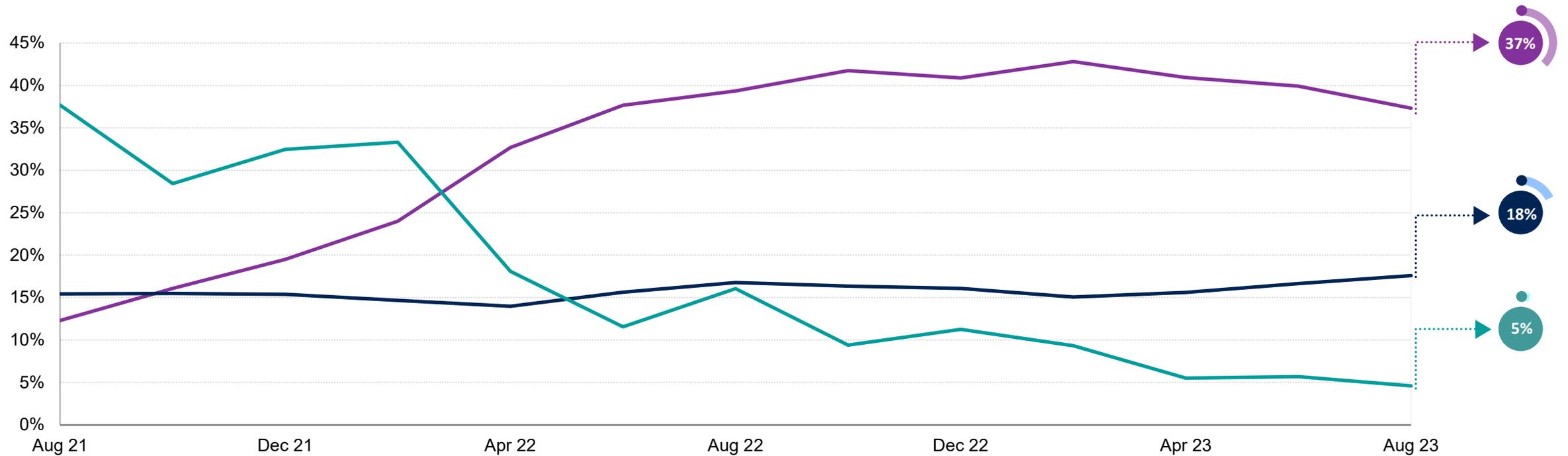

金融/政治腐敗


コロナウイルス

ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,275人。2015年～2023年。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

世界の懸念事項：長期トレンド（インフレ、気候変動、コロナウイルス）



インフレ

気候変動

コロナウイルス

ベース：2021年8月～2023年8月、参加29カ国の16～74歳の成人約25,275人の代表サンプル。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

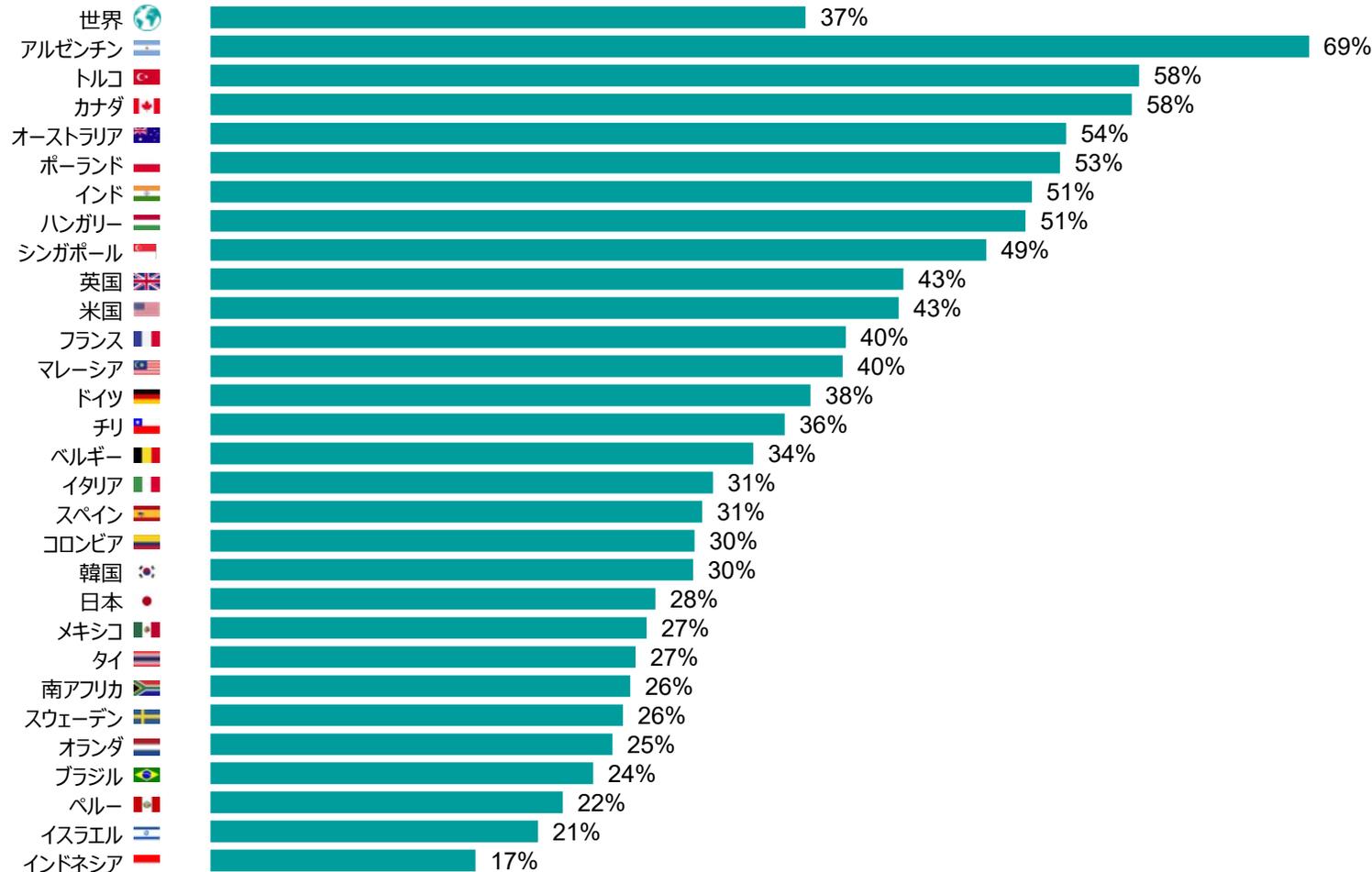
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。コロナウイルスは2020年4月から採用。

11 © Ipsos | 世界が懸念していること

フィルター：国：世界 | 現在のウェブ 2023年8月



1 | インフレ



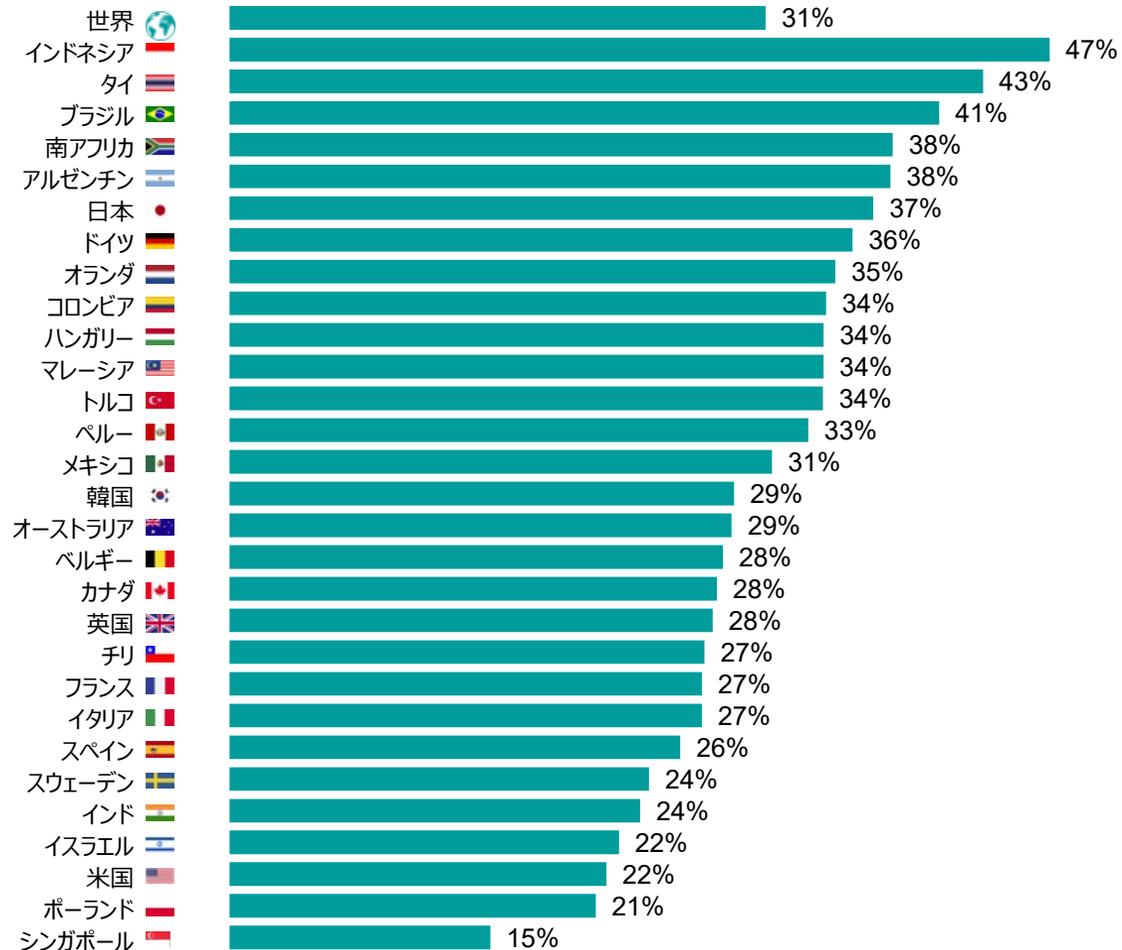
インフレ懸念は、6月に1ポイント、7月に2ポイント、そして今月は1ポイント低下と、3か月連続で低下しています。37%で、2023年の最低を記録し、2022年6月以来の低水準となりました。

低下しているにもかかわらず、インフレを最大の懸念事項として挙げる国は10カ国から12カ国に増加しています。アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、ハンガリー、インド、ポーランド、シンガポール、アメリカ、そしてトルコです。

アルゼンチン（69%）は依然としてトップで、2022年11月以来ずっと最も懸念している国となっています。

かつてトップだったポーランドの懸念度（53%）は低下しています。今月は6ポイント低下し、2022年4月以来の最低水準となりました。

2 | 貧困と社会的不平等



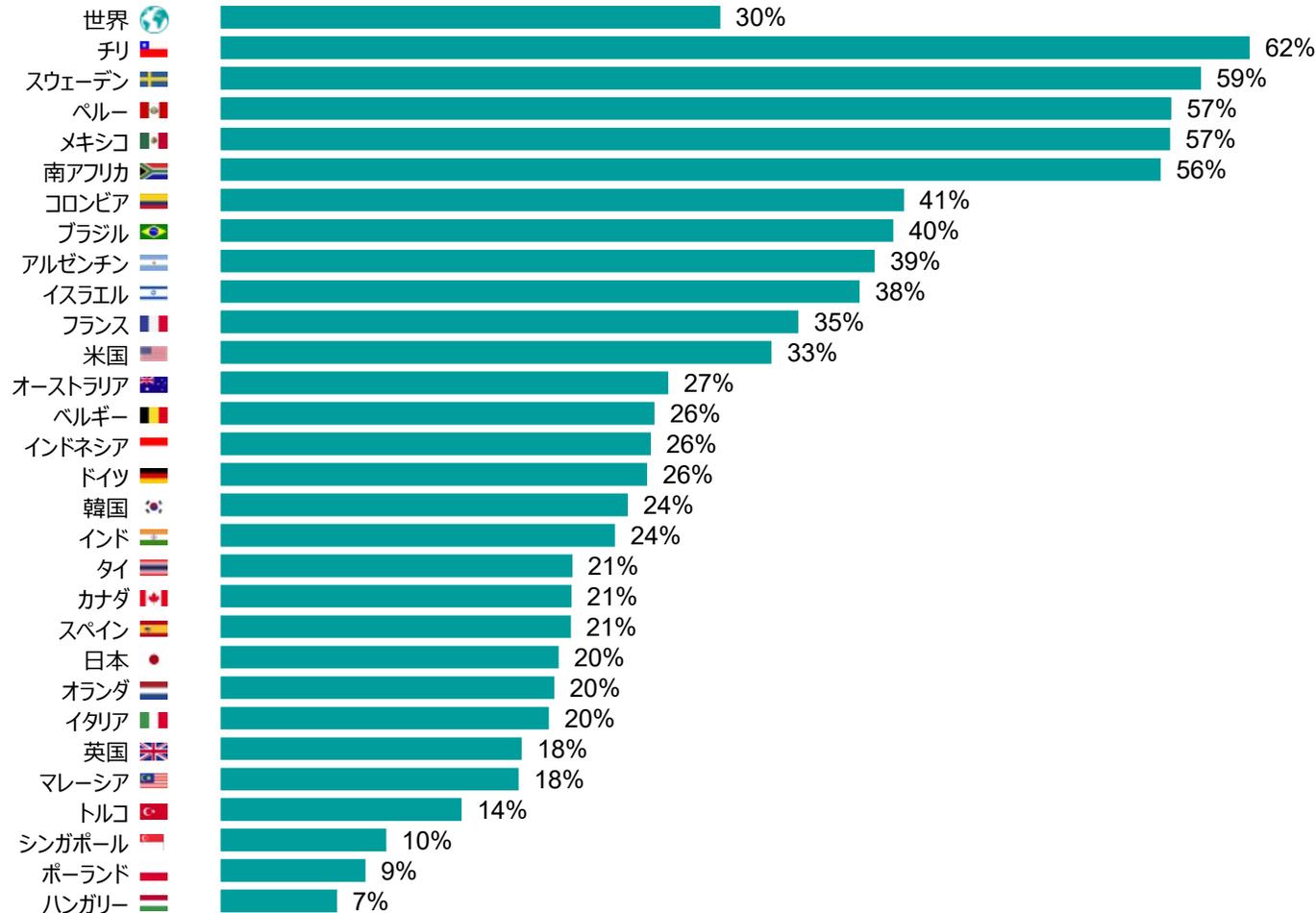
貧困と社会的不平等は現在、18項目の懸念のうち第2位で、31%が自国の問題だと答えています。これは先月から1ポイント上昇しました。

ブラジル（41%）とオランダ（35%）はいずれも不平等を最大の懸念事項としています。全体では、先月3位だったオランダは5ポイント下げ、8位となりました。

インドネシア人の半数近く（47%）が不平等を最大の懸念事項としています。インドネシアの貧困に対する関心度は常に比較的高くなっています。昨年は今頃は42%で3位でした。

ハンガリー（34%）は前月の1位から7ポイント減で10位となりました。

3 | 犯罪と暴力



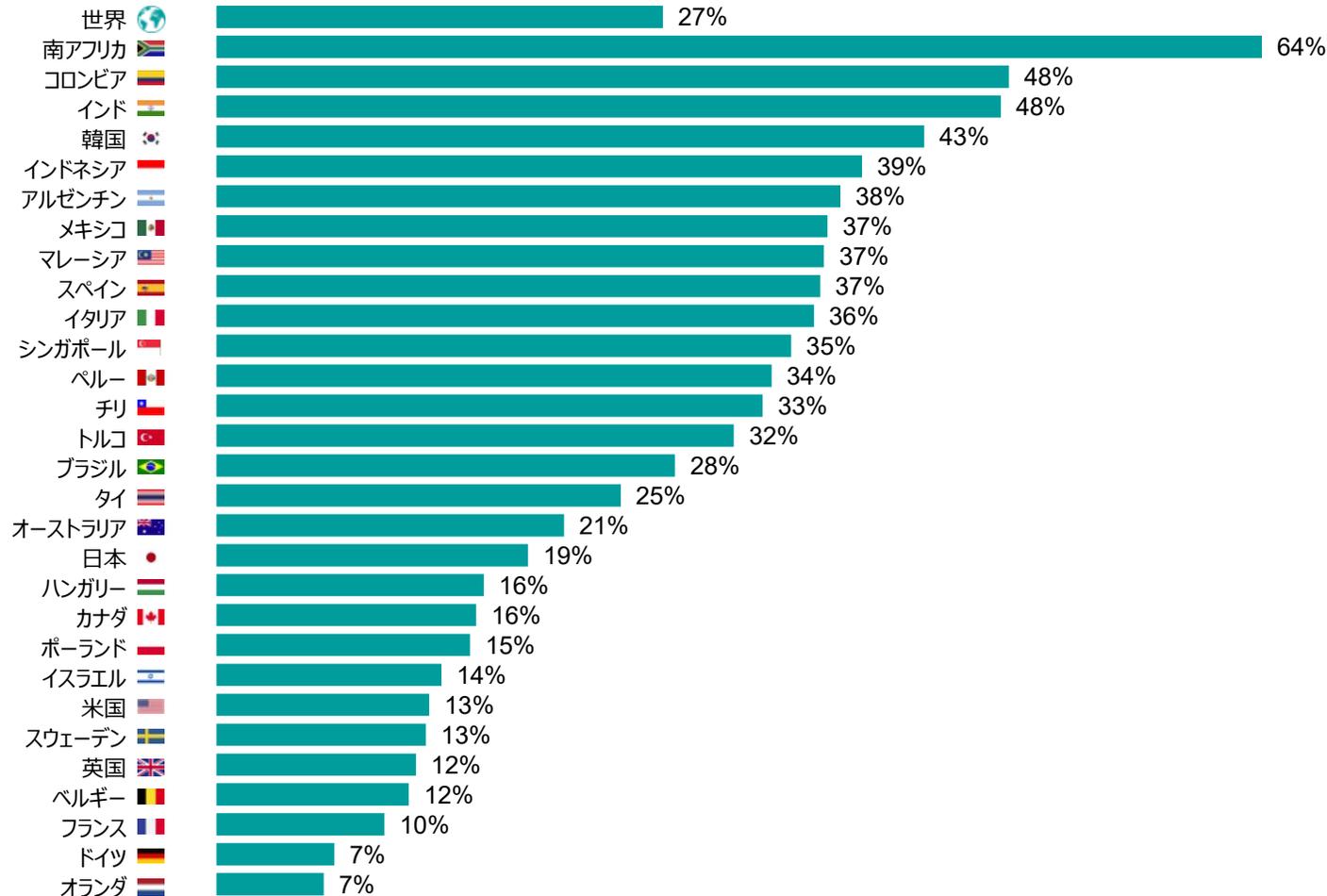
犯罪と暴力を最も懸念しているのは3分の1弱（30%）で、今月は1ポイント減少しました。7月には2ポイントの微増を記録していました。

7月、フランスではこの問題が急増し、最大の懸念事項となりました。しかし、8月になると懸念は落ち着きを見せ、14ポイント下がって35%になりました。

イスラエル（38%）の懸念も10%低下しました。

犯罪と暴力を最大の懸念としているその他の5カ国：チリ（62%）、スウェーデン（59%）、ペルー（57%）、メキシコ（57%）、イスラエル（38%）

4 | 失業



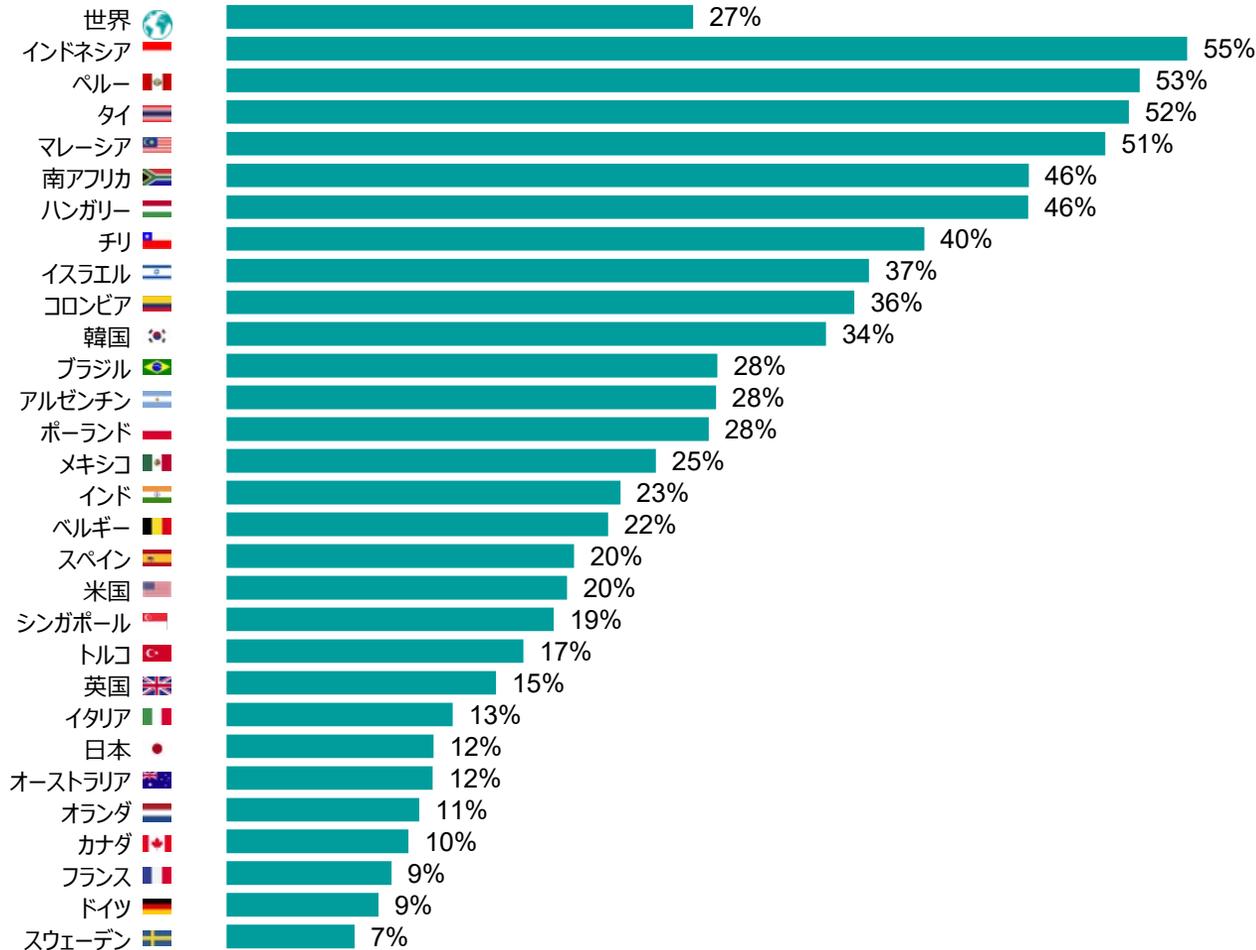
失業は、世界が懸念していること調査で依然として4番目に大きな懸念事項であり、27%が自国の問題として挙げています。7月から1ポイント上昇しています。

南アフリカは2021年4月以来、最も懸念している国となっています。しかし、過去最高水準だった6月以降、懸念は着実に減少しています。今年8月の懸念は4ポイント減少しました。

今月はコロンビアとインド（いずれも48%）が増加し、第2位となりました。コロンビアは7ポイント増、インドは8ポイント増。

今月は5カ国が失業問題を最大の懸念事項としています：南アフリカ、コロンビア、韓国（43%）、スペイン（37%）、イタリア（36%）。

5 | 金融／政治腐敗



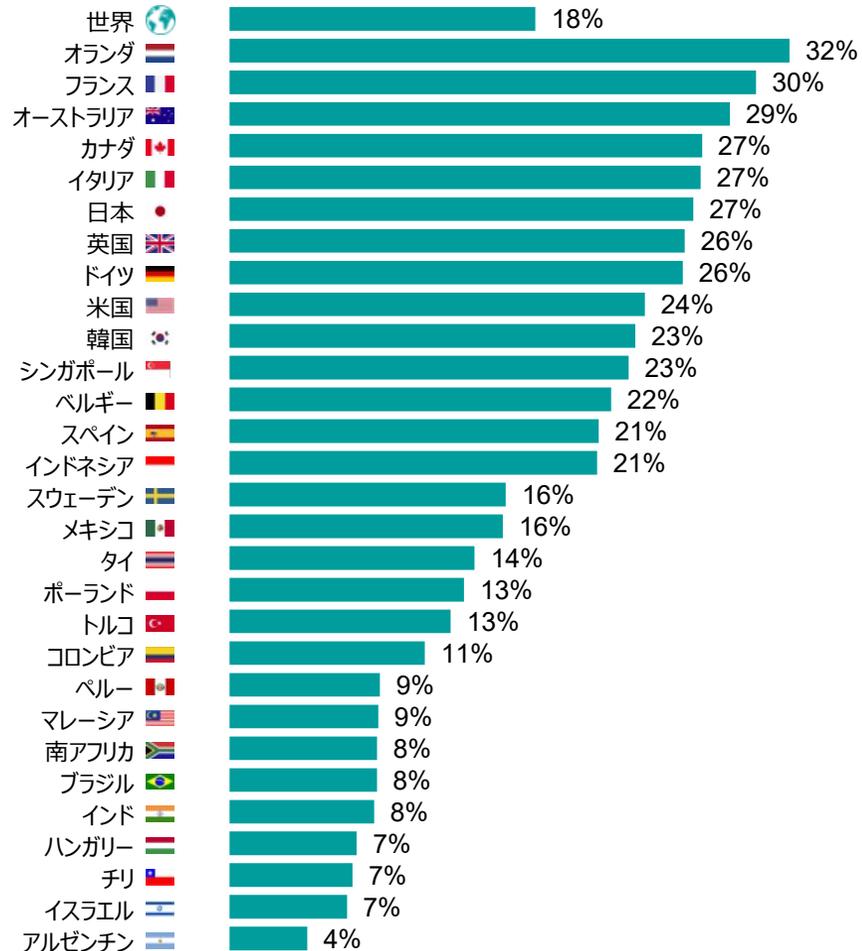
4分の1以上（27%）が、自国の最重要課題の1つとして金融／政治腐敗を挙げています。今月は1ポイント増えました。

南アフリカでは現在、半数弱（46%）が汚職を懸念しています。今月は9ポイント下がり、トップではなくなりました。代わりに、インドネシア（55%）が1ポイント増でトップとなりました。

インドネシアと並んで、タイとマレーシアも半数以上が汚職を最重要課題としています（それぞれ52%と51%）。

先月はシンガポールが6ポイント増えたことに注目しました。今月はさらに8ポイント増加し、5人に1人（19%）となりました。

7 | 気候変動



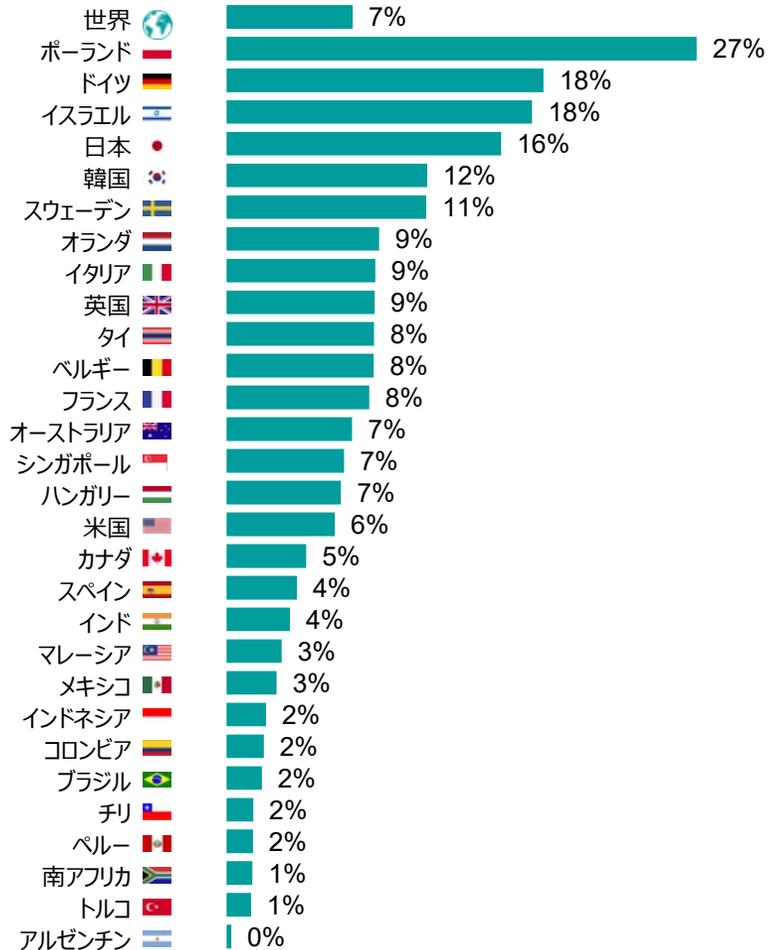
気候変動は、世界が懸念していること調査における18の世界的懸念事項のうち、医療と税金の間で7位にランクされています。今月の懸念は1ポイント増加しました。

シンガポールは、先月最も懸念している国でしたが、今月は4分の1弱（23%）が懸念しています。スコアは8ポイント下がりました。

現在、オランダでは3分の1（32%）が懸念を抱いており、トップの国となっています。気候変動は、オランダ人にとって移民規制と並んで懸念の度合いが高くなっています。

最近の熱波のあと、いくつかのヨーロッパ諸国では懸念の増加が見られました。フランス（30%）は5ポイント増、イタリア（27%）は7ポイント増、イギリスは6ポイント増、スペイン（21%）は3ポイント増です。

14 | 国家間の軍事衝突



国家間の軍事衝突は、過激派の台頭とソーシャルプログラムの維持に次いで、世界的な懸念事項の第14位にランクされています。先月と変化はありません。

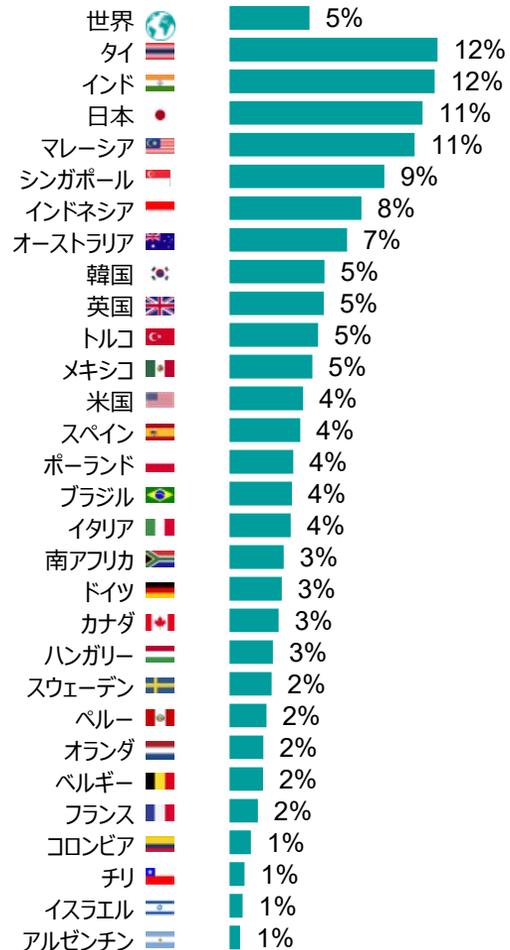
29カ国で10人に1人弱（7%）が、国家間の軍事衝突を自国の問題として選んでいる。

ポーランドは依然として最も懸念している国で、4分の1以上（27%）が懸念があると回答しています。7月から変化ありません。

イスラエル（18%）の懸念は今月に入って回復し、4ポイント上昇しました。

ドイツ（18%）は依然として（イスラエルと並んで）2番目に懸念している国です。

17 | コロナウイルス (COVID-19)



コロナウイルスは、18ある懸念事項のうち、17位（テロリズムとクレジットへのアクセスの間）にランクされています。5%で変わらず、2020年4月に、世界が懸念していること調査に追加されて以来、最低の順位となりました。今年の今頃、パンデミックは16%でした。

ちょうど2年前（2021年7月）、この問題は37%（今月とは32ポイントの差）を占め、10カ国がこの問題を最大の懸念事項として挙げていました。

今月はほとんど変化がなく、ほとんどの国で懸念が減少しています。タイ（12%）は、シンガポール（9%）が4ポイント低下したため、現在1位となっています。

經濟的焦點

自国の経済状況

イプソスの「世界を心配させるもの」調査と並行して毎月実施されている「世界消費者信頼感調査」は、29カ国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査するものです。

以下のセクションでは、そのデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

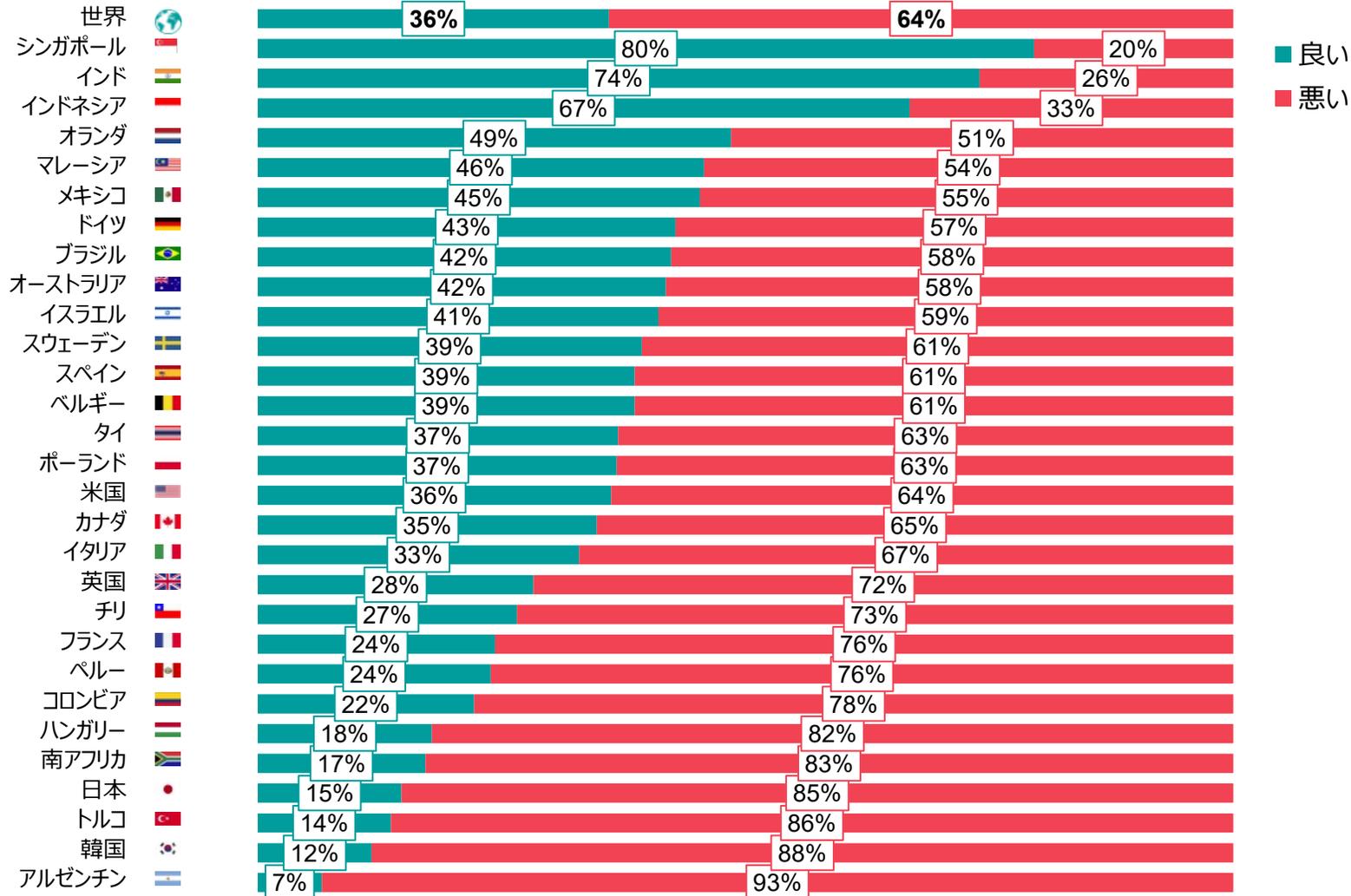
詳しくは、イプソスの世界消費者信頼感指数の総合ポータル [をご覧ください。](https://www.ipsos.com/en/ipsos-global-consumer-confidence-index)
<https://www.ipsos.com/en/ipsos-global-consumer-confidence-index>

詳細は、Nik.Samoylov@ipsos.com までお問い合わせください。



現在の経済状況

Q あなたの国の現在の経済状況をどう思いますか？



経済に関する認識の詳細を[イプソスグローバル消費者信頼感指数 \(Ipsos Global Consumer Confidence Index\)](#) で読む

29カ国全体では、36%の人が自国の現在の経済状況を「良い」と回答しており、2023年7月以降変化はありません。

先月から最も肯定的な感情が高まったのは、ポーランド (+7 ポイント)、インド (+6 ポイント)、スウェーデン、英国 (いずれも +5 ポイント) でした。

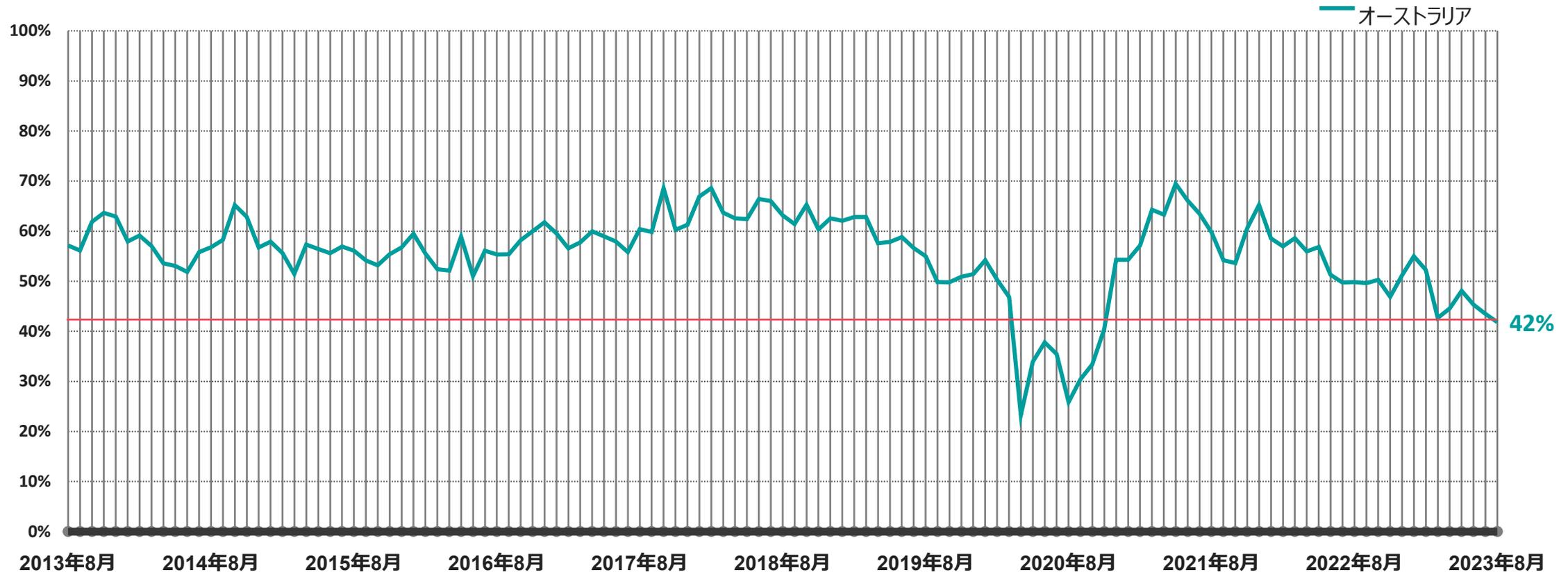
スペインの「(経済が) 良い」は今月2ポイント上昇し、3ヶ月連続で過去最高を記録しました。

一方、コロンビアの「良い」は10ポイント下がって22%。トルコの「良い」は9ポイント低下し、過去最低を記録しました (2022年7月と同スコア)。

現在の経済状況：オーストラリア

オーストラリアでは、「(経済が)良い」が今月よりも低かったのは、パンデミックの最中の記録だけである。

Q あなたの国の現在の経済状況をどう思いますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：オーストラリアの16～74歳の代表サンプル。約1000人。2013～2023年調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

23 © Ipsos | 世界が懸念していること

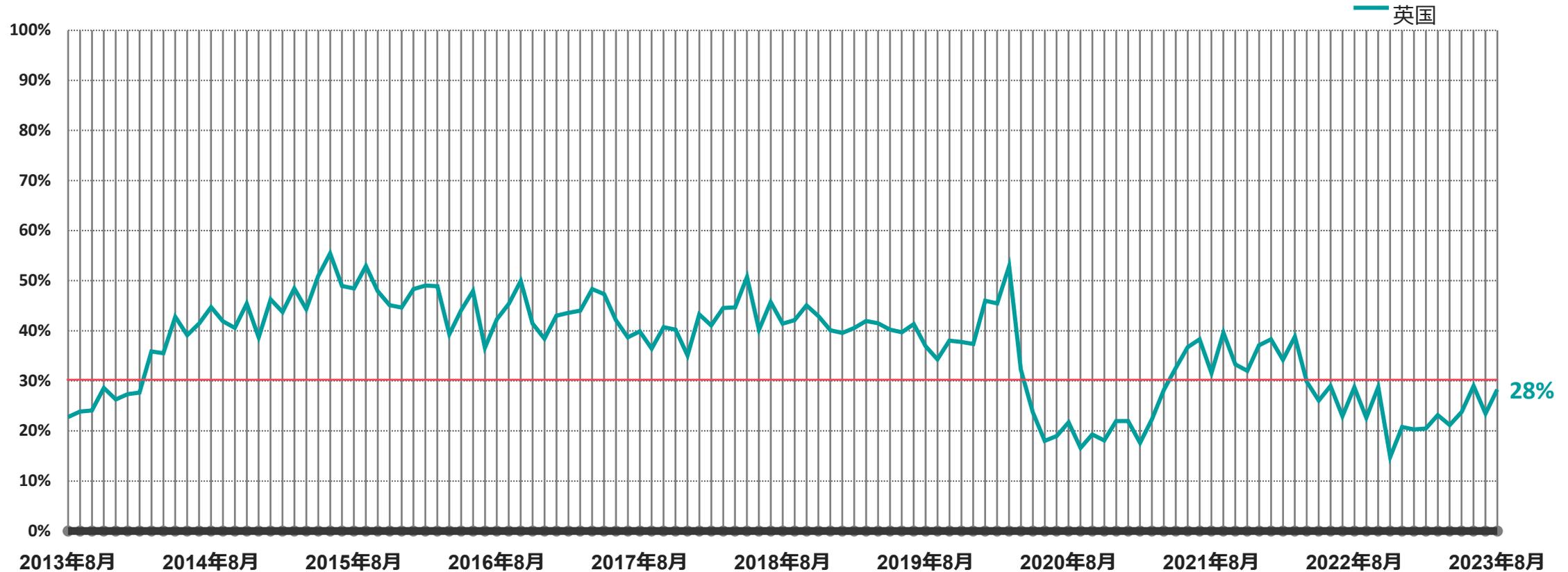
フィルター：国：世界 | 現在のウェブ 2023年8月



現在の経済状況：英国

英国の「良い」は今月5ポイント上昇したが、依然としてパンデミック前の平均を大きく下回っている。

Q あなたの国の現在の経済状況をどう思いますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：英国の16～74歳の代表サンプル。約1000人。2013～2023年調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

24 © Ipsos | 世界が懸念していること

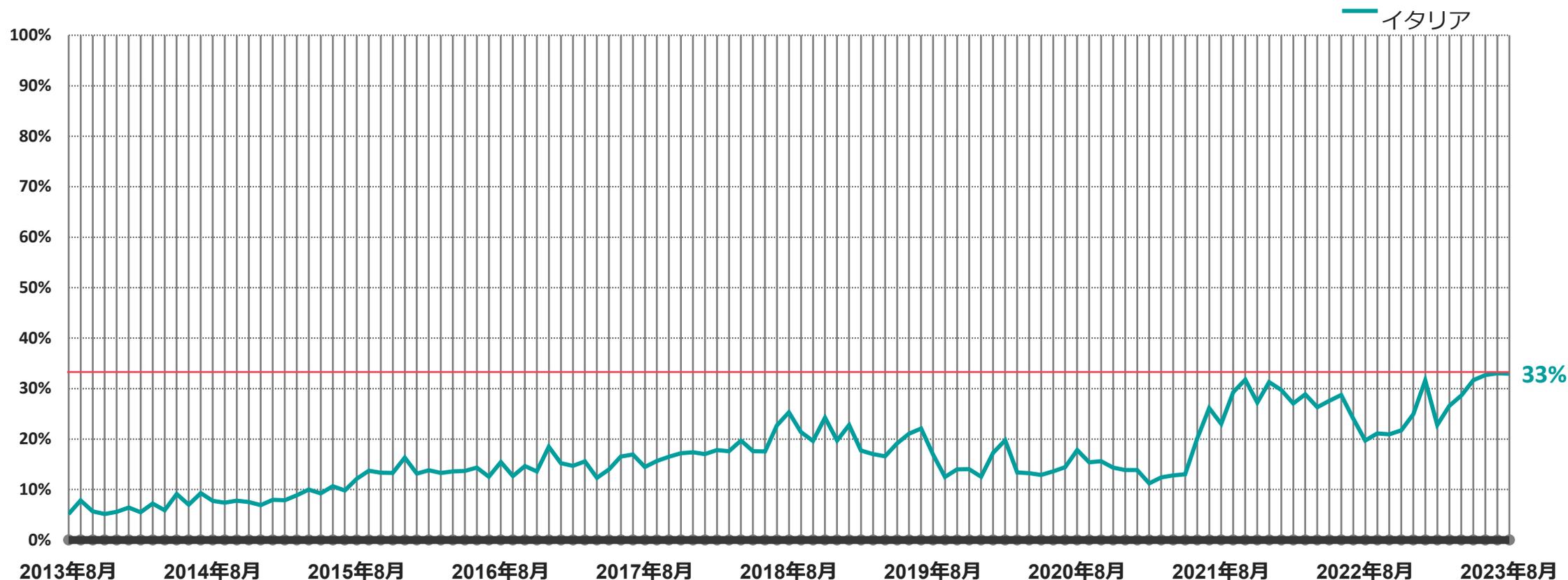
フィルター：国：世界 | 現在のウェブ 2023年8月



現在の経済状況：イタリア

イタリアで過去最高となった6回の「（経済が）良い」のうち、5回が2023年に記録されている。

Q あなたの国の現在の経済状況をどう思いますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：イタリアの16～74歳の代表サンプル。約1000人。2013～2023年調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

25 © Ipsos | 世界が懸念していること

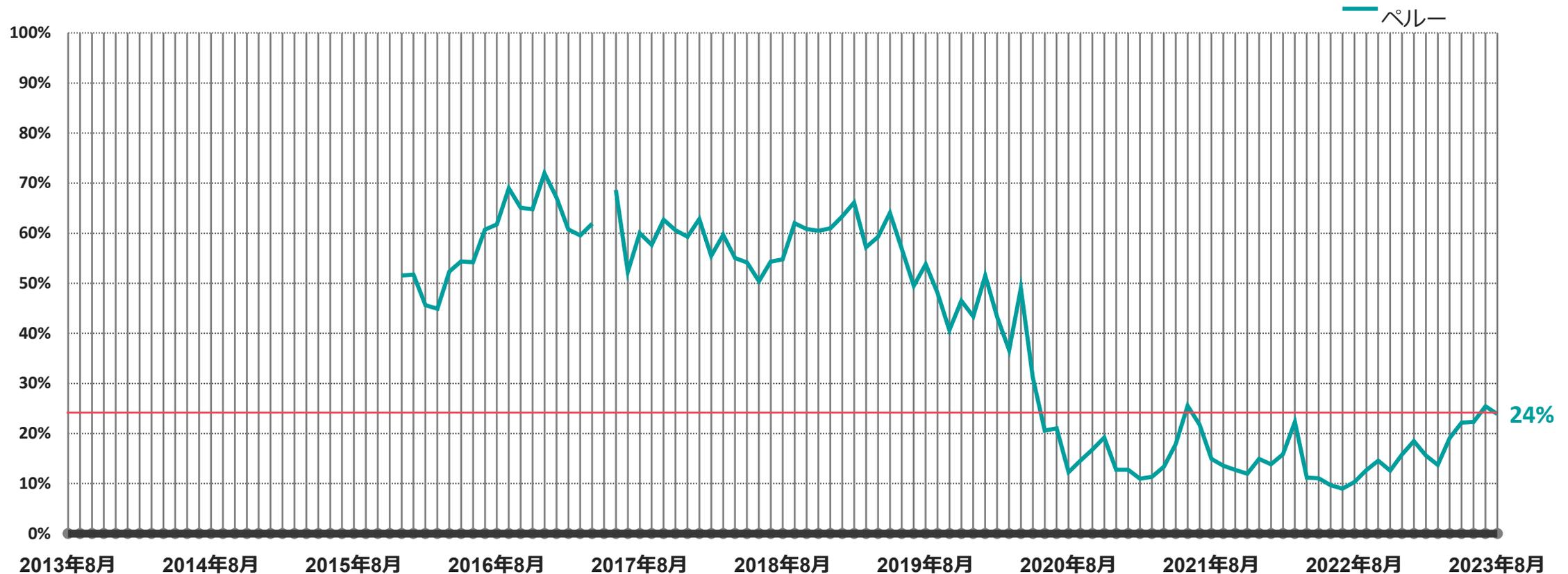
フィルター：国：世界 | 現在のウェブ 2023年8月



現在の経済状況：ペルー

ペルーの「（経済が）良い」は、2020年5月（31%）以降、30%を超えていない。

Q あなたの国の現在の経済状況をどう思いますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：ペルーの16～74歳の代表サンプル。約500人。2013～2023年調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

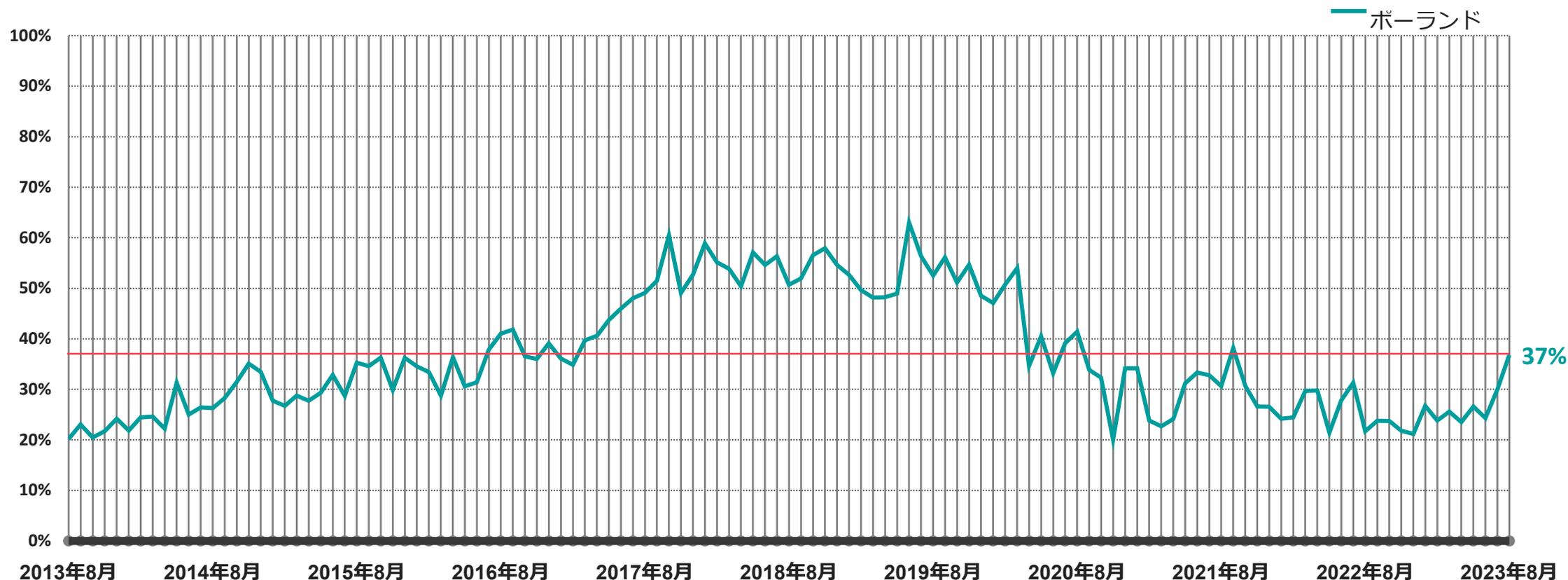
26 © Ipsos | 世界が懸念していること

フィルター：国：世界 | 現在のウェブ 2023年8月

現在の経済状況：ポーランド

今月のスコアはポーランド
にとって2021年9月（38%）
以来最高となった。

Q あなたの国の現在の経済状況をどう思いますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：ポーランドの16～74歳の代表サンプル。約500人。2013～2023年調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

27 © Ipsos | 世界が懸念していること

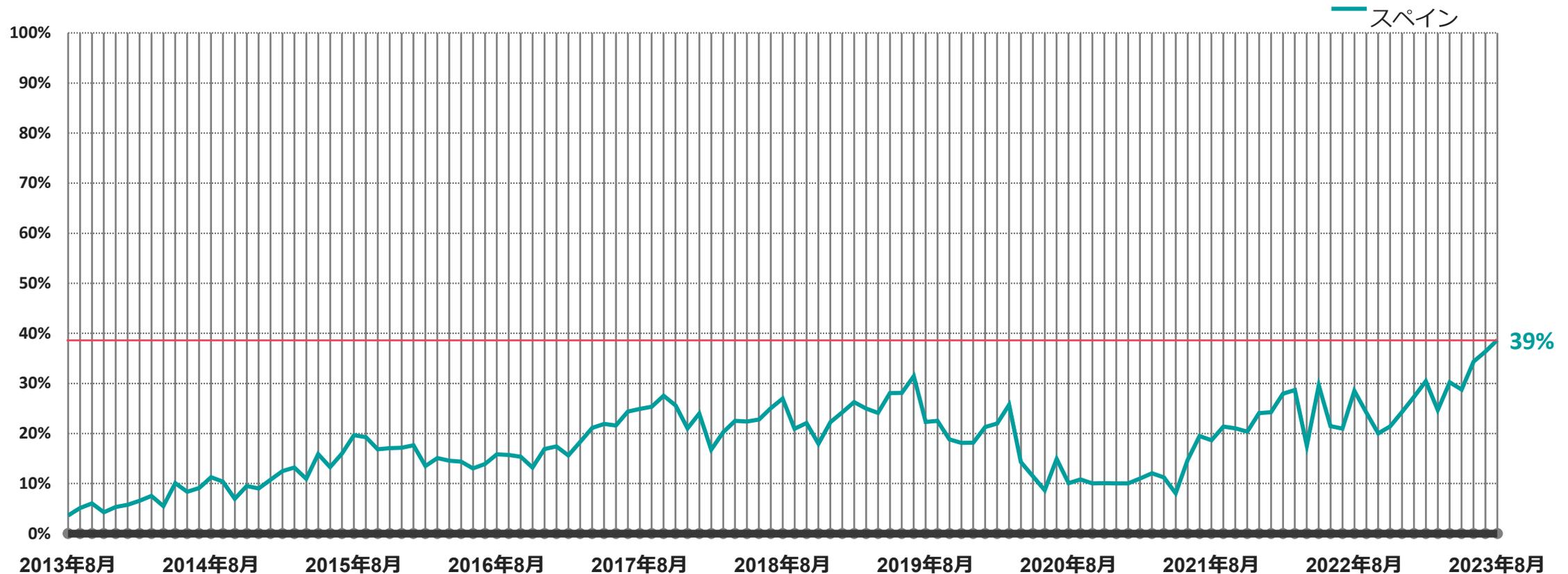
フィルター：国：世界 | 現在のウェブ 2023年8月



現在の経済状況：スペイン

スペインは現在、3ヶ月連続で過去最高の「（経済が）良い」を記録している。

Q あなたの国の現在の経済状況をどう思いますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：スペインの16～74歳の代表サンプル。約1000人。2013～2023年調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

28 © Ipsos | 世界が懸念していること

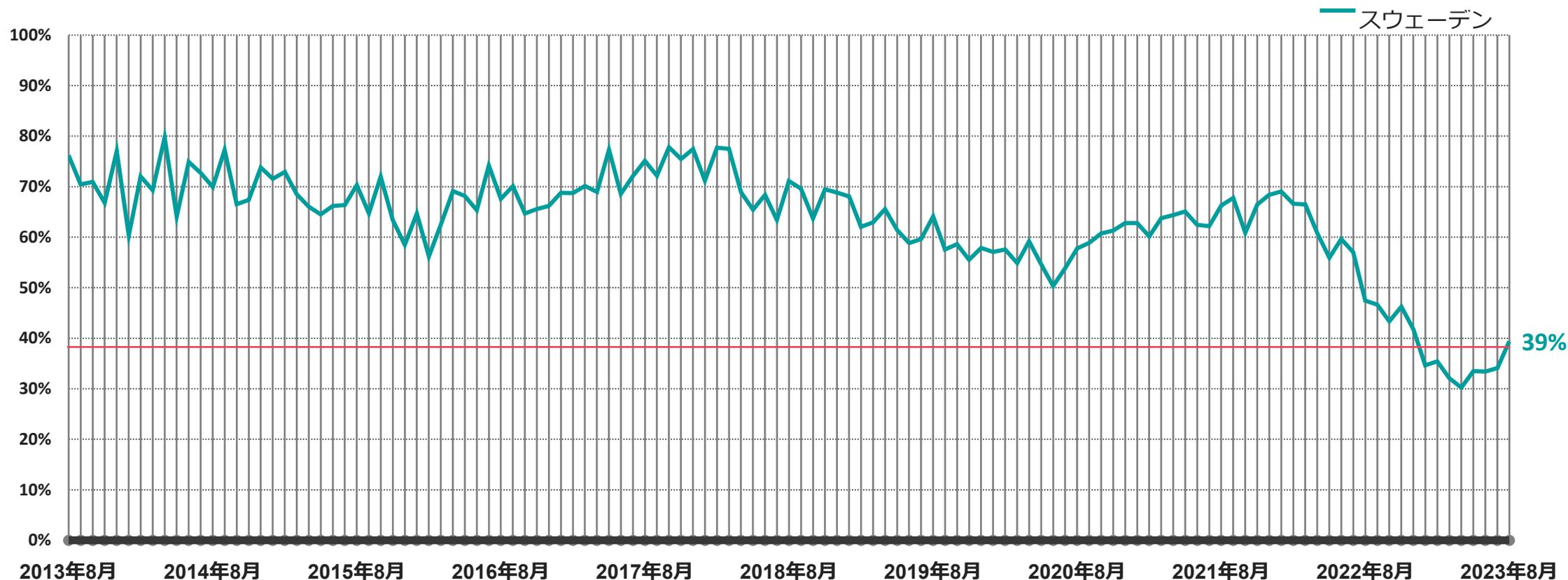
フィルター：国：世界 | 現在のウェブ 2023年8月



現在の経済状況：スウェーデン

楽観的な見方が減少していた時期があったが、スウェーデンの「（経済が）良い」は4ヶ月連続で上昇または横ばいとなっている。

Q あなたの国の現在の経済状況をどう思いますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：スウェーデンの16～74歳の代表サンプル。約500人。2013～2023年調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

29 © Ipsos | 世界が懸念していること

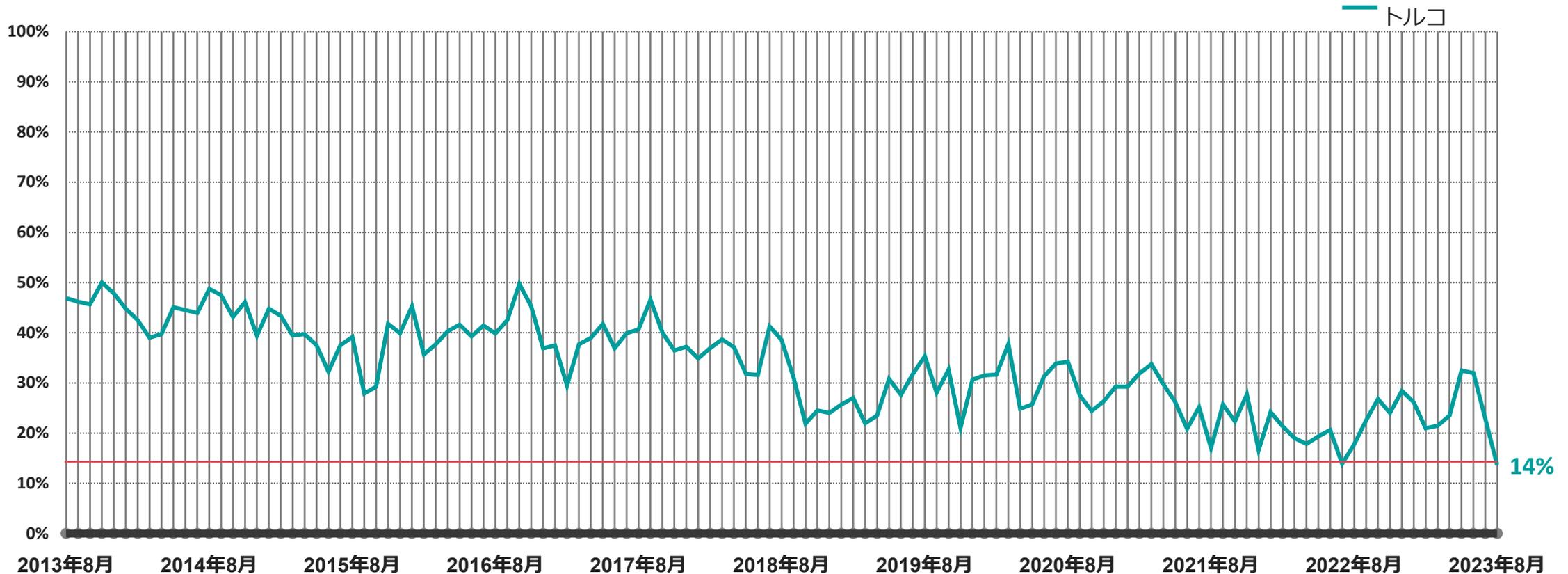
フィルター：国：世界 | 現在のウェブ 2023年8月



現在の経済状況：トルコ

この2ヶ月で14ポイントの低下となり、トルコの「良い」スコアは過去最低となった（2022年7月と同スコア）。

Q あなたの国の現在の経済状況をどう思いますか？（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：トルコの16～74歳の代表サンプル。約500人。2013～2023年調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、グローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30 © Ipsos | 世界が懸念していること

フィルター：国：世界 | 現在のウェブ 2023年8月



調査方法

この29カ国のグローバル・アドバイザー調査は、2023年7月21日から2023年8月4日にかけて、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、インドネシアとタイの20～74歳、シンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳の成人20,570人を対象に、イプソスのオンラインパネルシステムで実施された。

「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国の平均値である。各国の人口規模に合わせて調整されてはならず、総合的な結果を示すものではない。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、イスラエル、日本、メキシコ、スペイン、スウェーデン、米国の各1000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インド、インドネシア、マレーシア、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各500人以上からなる。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、その国の75歳未満の一般人口を代表しているとみなすことができる。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。これらの市場の調査結果は、人口のうち、より「コネクテッド」な層の意見を反映していると見るべきだろう。属性のバランスが取られ、サンプル構成が最新の国勢調査データを反映した成人人口の構成比になるよう、ウェイト付けが行われている。

イプソスのオンライン世論調査の精度は、1,000人の世論調査の精度を±3.5%ポイント、500人の世論調査の場合は±5.0%ポイントの信頼区間を用いて計算されている。イプソスの信頼区間使用に関する詳細は、イプソスのウェブサイト参照のこと。

パーセンテージの合計が100にならない場合、または「差」が実際より+/-1多いまたは少なく見える場合は、四捨五入、複数回答、「わからない」または未回答の除外による可能性がある。

本調査結果の公表は現地の規則に従う。